

TGM

LCM社ガラス洗浄機

8月末までキャンペーン

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は6月から3カ月間、台湾・LCM(LIICHUANG MACHINERY)社のガラス洗浄機全機種を対象に、特別販売キャンペーンを実施する。LCM社は洗浄機、搬送コンベヤーの専門メーカーで、洗浄機では平型洗浄機に強みがある。欧州メーカーの場合、数種類の特定サイズのラインアップしかないが、LCM社の洗浄機は客の要望に合わせてサイズ、機能のカスタマイズが可能。日本でも評価が高く、ここ3年で15台強の納入実績がある。建築用だけでなく産業用にも対応し、厚さ0・5ミリの薄物ガラスの洗浄機も製造できる。

カスタマイズ可能

欧州メーカーの洗浄機の場合、数種類の特定サイズのラインアップしかないため、日本では工場場のスペースの関係で、既製品では工場内に入ら

ないこともあった。LCM社の洗浄機は、工場スペースに合わせて設備サイズのカスタマイズが可能で、日本でも評価が高い。

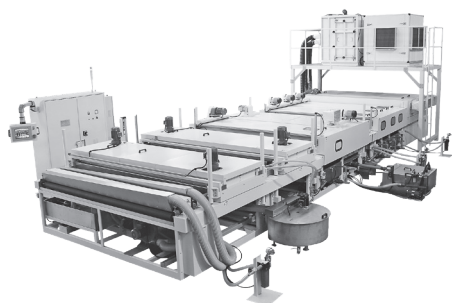
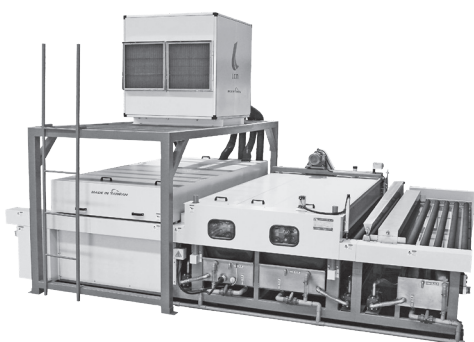
近年、ガラスの加工品質に対する要求が高まっており、同社にもガラス欠点検査システムの引き合いが増えている。高い精度でガラスの欠点を検

とができる。

エアナイフ、ディスク、スポンジなどさまざまなタイプがある。建築用だけでなく産業用に対応した設備もあり、厚さ0・5ミリの薄物ガラスの洗浄機も製造できる。洗浄能力が高いディスクタ

イプは納入実績が多い。LCM社は1982年創業で、ガラス業界で長年の実績がある。台湾での社名は金吉利機械。認知度向上のため、2017年から海外ではLCMの社名を使用している。台湾で製造し、台湾国内

向けに60%、海外向けに40%の割合で販売している。海外にも多数の納入実績があり、600台以上を販売している。同社が日本での総代理店を務める。今回の特別販売キャンペーンは、8月末までの注文が対象となる。



上からエアナイフ、ディスク、スポンジタイプのガラス洗浄機